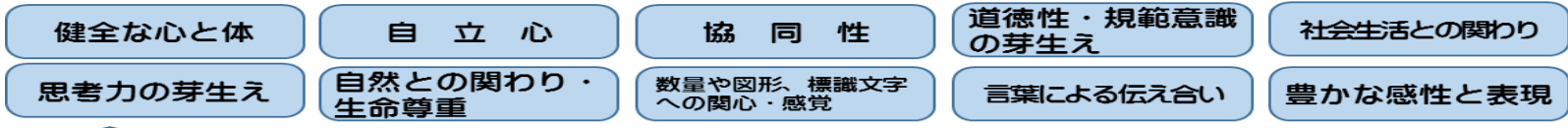


# 始良市接続期カリキュラム ～保幼小の学びをつなげよう～ R1.12.5改訂

	<b>生活上の自立</b>	<b>学びの自立</b>	<b>精神的な自立</b>
	環境の変化などに適応する力や身辺自立・生活習慣に関する力 <b>基本的な生活習慣</b> <b>整理整頓</b> <b>食事</b> など	学習の基礎となる興味や関心、意欲、能力などを発揮する力 <b>興味・関心・意欲</b> <b>態度</b> <b>創意・工夫</b> など	様々な人とかかわりながら自己を発揮し、共に生活を作り出す力 <b>規範意識</b> <b>友達や担任との関係づくり</b> など
小学校の取組例	決まった時刻に就寝・起床するなどして、自分で生活リズムを整えることができる。 時計を意識して行動する経験を積み重ね、時間割などの設定された時間に合わせて小学校生活を送ることができるようになる。 日直や当番の仕事など自分でできることに取り組み経験を通して、自主的に活動しようとする意欲が高まる。 TPOに応じた服装を意識し、自分で着衣の乱れなどを整えることができる。 <b>D 自分のことは自分でできる子ども</b>	基本的な発表の仕方を意識して自分なりの考えや気持ちを伝えたり、また、分からないことや難しいことは聞きながら粘り強く取り組んだりするようになる。 読み聞かせ活動を通して、音読や読書に対する興味・関心が高まっている。 正しい鉛筆の持ち方で文字等を書くことができるようになる。 授業開始前に、次の授業で使う物を準備するなど、基本的な学習態度を身に付けている。 <b>A 学ぶ意欲をもった子ども</b>	集団生活や異年齢交流、地域の人々との交流などを通して、他と協力したり、意見を交わす中で新しい考えを生み出しながら工夫して取り組んだりするようになる。 日常生活や学校生活のルールやマナーについて考えることを通して、みんなの安全・安心な生活につながるなど、ルールやマナーの大切さやよさへの理解が深まっている。 道徳科や学級活動を中心に、相手の気持ちを考えたり、自分の考え方を振り返ったりなどしながら、気持ちや行動を自律的に調整し、学校生活を楽しくしていこうとする。 自分のために何かをしてくれている人の存在に気付いたり、感謝する気持ちを言葉や行動で表現したりするようになる。 自分から進んであいさつをしたり「ありがとう」「ごめんなさい」が言えたりするようになる。 <b>G ルールを守ることができる子ども</b>
	カバン棚、机上、引き出し、トイレのスリッパ並べなど、身の回りの整理整頓をすることの大切さやよさを感じるようになる。 食事の大切さについて考える活動を通して、好き嫌いをせずに食べることができるようになる。 安全に気を付けて過ごしたり、友だちと一緒に楽しんで運動をしたりするようになる。 <b>E 基本的な生活習慣を身に付けた子ども</b>	正しい姿勢（目と耳と心）で人の話を聞くことや指示を最後まで聞いて活動することの大切さやよさを感じるようになる。 <b>B 表現できる子ども</b>	友達や担任との関係づくりなど、自分と他者との関係性を大切にするようになる。 <b>H 思いやりのある子ども</b>
	<b>F 健康で安全に生活できる子ども</b>	<b>C 聴くことのできる子ども</b>	<b>I 人とのふれあいを大切にできる子ども</b>

## 幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿



幼稚園・保育所・こども園の取組例	<b>D 自分のことは自分でできる子ども</b> 給食準備のお手伝いをするようになる。 当番や活動の準備、着替え、整理整頓など最後まで自分でする経験を積み重ね、そのよさを感じるようになる。 着衣の乱れなどに自ら気付き、自分で整えることができるようになる。 一日の活動の大まかな時間の見通しをもったり、活動の区切りに時計（時刻）を意識したりすることで、時間を意識した生活ができるようになる。 決まった時間に就寝し、起床することができるようになる。	<b>E 基本的な生活習慣を身に付けた子ども</b> 食事のマナーや箸の正しい使い方を知り、みんなで食事することのよさを感じるようになる。 食べ物への興味・関心が芽生え、好き嫌いをせずに食べることのよさを感じるようになる。 手を洗ったりスリッパを揃えたりなどを意識してトイレを使うようになる。 午睡がなくても、午後の活動に取り組む気力や体力が育まれつつある。	<b>F 健康で安全に生活できる子ども</b> 積極的に外遊びや運動遊びに取り組む。	<b>A 自ら活動に取り組む子ども</b> 自ら遊びを考えて活動することを通して、主体的に考えて活動することのよさを感じるようになる。 遊具に触れたり遊んだりすることを通して、体を動かすことのよさを感じるようになる。 生物の飼育や栽培など、五感を使って感じ取ることができる活動をたくさん積み重ねている。	<b>B 表現することを楽しむ子ども</b> 創作活動を通して表現することのよさを感じるようになる。 読み聞かせや紙芝居などを通して、本を読むことや文字への興味・関心が高まる。	<b>C 聴くことのできる子ども</b> よい姿勢（目と耳と心）で聞くことのよさを感じるようになる。 机や椅子に座って活動する経験を積み重ねている。 先生の話最後まで聞くことができる。	<b>G ルールを守ることができる子ども</b> ルールやきまりのある遊びが、心地よく楽しい活動につながっていくことに気付くようになる。 日常的なルールやマナーを大切にすることの必要性が分かるようになる。	<b>H 思いやりのある子ども</b> 先生や地域の人への態度や言葉遣いなどについて考え、ふさわしい態度や言葉遣いで応じるようになる。 考えや気持ちを自分なりの言葉で伝える経験を積み重ね、相手に考えや気持ちが伝わるよさを感じるようになる。 友達のことを思いやり、優しくすることのできたよさを感じるようになる。 あいさつや「ありがとう」「ごめんなさい」が言えるようになる。	<b>I 人とのふれあいを大切にできる子ども</b> 集団生活や異年齢交流、地域の人々との交流などの経験を積み重ねて、人と触れ合ったり協力し合ったりすることのよさを感じるようになる。
------------------	---	---	---	--	--	---	--	---	--

